

がん哲学外来さいわいカフェ in 茨城・筑西

さいわいニュースレター

もうすぐ1周年・・・♪

第7号

樋野興夫先生の言葉の処方箋

「何をするか」よりも、「どうあるか」

「たとえ寝たきりであっても、あなたには十分に生きている価値がある。あなたの存在、優しい笑顔、思いやりのある言葉がお見舞いに来てくれた人たちを勇気づけたり、明るい気分にしたりしているではないですか」

あなたは、ただそこにいてだけで価値ある存在なのです。

「何かなす (to do) 前に、何かである (to be) ということを考えよ。それが先生 (新渡戸稲造) の一番大事な考えであったと思います」 (政治学者、戦後初の東京大学総長・南原繁)

「to do」よりも「to be」を大事にする。人生には「何をするか」よりも「どうあるか」が問われる瞬間があります。

何もしなくてもいい。
黙ってそばにいてだけで
相手の心は満たされる。
無理に何かをやる必要はない。
あなたは、ただそこにいてだけで
価値ある存在なのです。

樋野興夫著

順天堂大学医学部 教授
がん哲学外来 理事長

『明日この世を去るとしても今日の花に水をあげなさい』
幻冬舎より抜粋



2018年8月
ジャパンキャンサーフォーラムにて

7/28

第5回

がん哲学外来さいわいカフェ報告

7月のさいわいカフェは、台風の雨風の影響が心配でしたが、ちょうど雨がやんで、ほっとした昼下がり…。初めての方が、守谷市・境町・筑西市からいらしてくださり、12名でのカフェタイムとなりました。その中には、茨城県の患者会「レディスピア県西」の方や大学の福祉学科の方もご参加下さり、「がん哲学外来カフェ」の名前が、ちょっとずつ、茨城県内に広まっていると感じうれしく思いました。

「お茶のお供」には、富山研修のお土産のお菓子とひんやりゼリーをいただきました。テーブルのお花は、きららさんちのお庭から、ブルーサルビアや千日紅など…ガラスの器にビー玉がとっても涼しげでした。

樋野先生の処方箋からは「ダメなところを認めれば、何ができるかわかる」や「空っぽの器」などの言葉を受け取り、テーブルごとに、なごやかなさいわいタイムとなりました。

あるテーブルでは、病気のお話の他に、ひよこのお話 (ひよこの鑑別師さんがいらして) や北海道の話題 (出身地から) など、参加者の方々が自由に受け止め合い、笑顔があふれていました。なかなかお話がつきず、また、次回を楽しみに「365日の紙飛行機」を歌って会を閉じました。

桜川チャウチャウ えびわんこ (^_^)



● がん哲学『ミニ外来』記 パン屋さんの巻 ●

私の父方の祖父は食道がんで、母方の叔母は若くして乳がんで亡くなっています。子供心に「がんは怖い病気」という不安を抱いたのを覚えています。それでも若い時分には、「私だけは大丈夫」という他人事でした。

私が50歳を目前にしたある日、仲の良い友達のご主人が胃がんに…。電話口でそれを聞いた時には、何と言えればいいのかまったくわからず、ありきたりな励ましの言葉しか出てきませんでした。そんな折、樋野先生の「言葉の処方箋」に触れ、こんな肩肘の張らない接し方があるんだあと…。

友達とは、ご主人が (早期発見で、内視鏡手術でした) 退院された後に、下妻のおいしいパン屋さんと、コーヒータム！私は樋野先生の言う所の「暇げな風貌」で、少し面やつれた友達の「解消」になればいいなと願いつつ、とりとめのないおしゃべりを楽しみました。

がん哲学は、寄り添う気持ちがあれば、どこででもできる『外来』なのです。

それを実感したひとときでした。

筑西チャウチャウ みぼりん (*^_^*)



0922 第6回 さいわいカフェ日程

- 14:00 はじめの挨拶 お約束事の説明
歌「きみは愛されるため生まれた」
- 14:15 テキストの朗読
- 14:30 グループで会談：自己紹介、受け取ったことば
日頃感じていること、参加の動機など…♪
(もちろん、無理に話さなくても大丈夫です。)
- 15:30 アンケートのご協力、総括：感想など
- 15:50 歌「365日の紙飛行機」 お知らせ おわりの挨拶



安心・安全な場にするためのお約束ごと

- ・自分の考えや価値観を相手に押し付けません。
- ・相手の意見や考えを否定したり、非難したり、傷つける発言はしません。
- ・全員が話せるように、一人で長く話しません。
- ・個人的な話の内容は外で話しません。
- ・特定の宗教や思想は押し付けず、強引な販売や勧誘はしません。
- ・カフェ以外での参加者の交流は自己責任 でおこないます。



今後のさいわいカフェのご案内

テキストに樋野興夫先生の著書「明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい」を朗読し、お互いに思いや体験を分かち合い「解決できなくても、解消はできる」場を自指しています。(テキストの貸出販売有)

今後の日程 第7回 2018年11月24日(土)
第8回 2019年1月26日(土)

13:30~受付 14:00~16:00開催予定
詳細は、チラシやHPをご覧ください。お申し込みください。託児も可能ですので、お気軽にご参加ください。



● さいわいカフェ講演会実行委員会 ●

講演会に向けて「がん哲学外来さいわいカフェ講演会実行委員会」を立ち上げました。また、さいわいカフェ事務局では、日曜日の12時~14時に、樋野興夫先生の著書をさいわい特別価格にて販売しています。ぜひ、手に取ってご覧ください。

先日、「朝日がん大賞」を受賞された樋野先生の「言葉の処方箋」や内村鑑三・新渡戸稲造の名言に触れてみてください。そして、講演会当日に、先生の本をご持参下さって、ぜひサインをいただき握手をしてもらいましょう♪

人生思い出づくり・・・

平成最後の秋の思い出になること間違いなしです!

青春出版社さんのご厚意により

最新刊「生きる力を引き出す寄り添い方」

さいわい特別価格 1000円→なんと800円

その他の著書も多数ご用意しています。

プレゼントにも最適!

ご来場お待ちしております。



◆ ボランティアスタッフ募集中・人生工事中 ◆

さいわいカフェでは、引き続き、一緒にカフェを作って下さるボランティアスタッフを募集しています。

見学も大歓迎・お気軽にお声をかけて下さいね♪

「わたし、違う病気だけど…? 若くないけど…?」

もちろん大丈夫! そっとそばにいてだけで、

あなたは必要とされている存在「to be」

なのです。どうぞよろしくお願ひいたします。



★ テレビ・ラジオ、「がん教育」にて大活躍 ★
順天堂大学 樋野興夫先生、筑西市に来る!!
大切な人が がんになったとき…
生きる力を引き出す寄り添い方

がん哲学外来とは、2008年に、樋野興夫先生が、がん患者さんと医療現場との「隙間」を埋めるべく始めた対話の場です。現在、全国各地の病院、公共施設、教会など、約150か所で開催されています。がん哲学外来さいわいカフェは「ほっと一息つける場所」になれたらと願い、2017年11月、筑西市幸町にオープンしました(毎週月4土曜日に開催中)。「万が一じゃなく、二人一人ががんになる」という時代…心に響く「言葉の処方箋」を、多くの皆様へ聞いていただきたく思っています。ご家族・ご友人の方々とお話し合わせの上、ぜひお気軽にご参加下さい。



● がん哲学外来さいわいカフェ in 茨城・筑西 … 1周年記念特別講演会 ●

11月4日(日) 14:00~16:00
[日時] ▶▶▶ 受付開始: 13:30~
茨城県県西生涯学習センター
多目的ホール
[会場] ▶▶▶
茨城県筑西市野殿1371 東側臨時駐車場:多数、料金無料
最寄駅: JR水戸線 下館駅で乗り換え
つくばエクスプレス 守谷駅で乗り換え
関東鉄道 常総線「大田駅」下車 徒歩10~15分

● 樋野興夫(ひのきお)先生プロフィール ●

医学博士、順天堂大学 医学部(病棟・産科) / 国際教養学部 教授(併任)。
一般社団法人 がん哲学外来 理事長、東京女子大学理事、恵泉女学園理事。
1954年島根県生まれ、2008年に開設した「がん哲学外来」は、今年10周年となり、がん患者・家族の方々の駆け込み寺としても多く用いられている。また最近では、学校、地域、医療機関が連携した「がん教育」の働きに貢献している。
著書に、「いい賞格でいさる」(小学館)「がん哲学外来へようこそ」(新潮新書)「明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい」(幻冬舎)「大切な人ががんになったとき…生きる力を引き出す寄り添い方」(青春出版社)など多数、講演会終了後、先生のサイン会をいたします。詳細は裏面にをご覧ください。



● プログラム: 講演会・質疑応答・Q&Aセッション・サイン会 ● お気軽にご参加ください。

主催: がん哲学外来さいわいカフェ講演会実行委員会
さいわいカフェ事務局: 〒308-0848 茨城県筑西市幸町2丁目16-6 (日曜日12~14時)

電話: 080-4195-4316
メール: gtsaiwaicafe@gmail.com HP: www.saiwaic.org

● 後援: 筑西市 筑西市教育委員会 桜川市 桜川市教育委員会 一般社団法人がん哲学外来 ●

● 編集後記 ●

● まだまだ「器」が気になるお年頃…♪ 病院の待合室で

「器」の字を発見! 循環器・消化器・呼吸器・泌尿器…

赤い消火器も目に留まりました。それから、器用・器械・

容器・器官…「器の小さい不器用なわたし」なんて感じたり

もしました。こんな者でも「空っぽの器」のさいわいカ

フェに支えられ、これからもそれぞれの「器」を持ち寄っ

てお互いに苦痛にならない時間を作っていきたいと願っ

ています。引き続きのご利用をお待ちしています。

● 暑かった夏が過ぎ、金木犀の香り漂う秋の夜長…もうす

ぐ1周年…昨日、段ボール8箱の講演会チラシが届きました。

どうぞ、必要な方の手元に届きますように(*^_^*)

● 昨年10月「オープン記念特別講演会」に、樋野先生を初

めて筑西市にお迎えして、早1年! その後、11月から2か

月毎に、無事にカフェを継続できたのは、みなさまのお陰

です。そして、再び、先生を筑西市にお迎えできることを

大変嬉しく思っています。今回は、地域の方々、茨城各地

の方々に『がん哲学外来』を知っていただきたく大きな会

場をお借りしました。また、筑西市・桜川市と教育委員会

のご後援をいただきました。どうぞお気軽にご参加くださ

り、生(なま)の「言葉の処方箋」をぜひ受け取って下さい。

● 先生は11月3日は愛知県で祝賀会があり、その翌日に茨

城に来られる予定です。「暇げな風貌」で世界を飛び回っ

ている『スーパーレインボーマン!?登場』乞うご期待!



Facebook: がん哲学外来さいわいカフェin茨城・筑西

Twitter: GTさいわいカフェ♪ 最近始めました。

のんびりよちよち更新中、応援下さいU^ェ^U



がん哲学外来さいわいカフェ 海老澤規子